

NEXT STEP工房 認定団体

パンフレット



©ホビヲノエ

2021年5月 ver.1.2

制作：NEXT STEP工房運営チーム

団体名：岩大E_code

◇団体の目的は？

陸前高田市に関わり、楽しみながら、時々にはふさわしい立場で応援し活動する。

◇主な活動は？

- ・ 定期的な 基本毎週 ミーティングの実施
- ・ 陸前高田市への訪問・交流
- ・ 岩大構内へのポスターの掲示

◇団体の基礎データ（2021/5現在）

顧問：人文社会科学部 五味壮平 教授

メンバー数：人社8名、農1名

団体メール：gandai.e.code@gmail.com



団体名：三陸委員会ここより

◇団体の目的は？

「過去と未来、三陸と人を繋ぐ」をテーマとして活動を行います。あえて目的は設定しません。

◇主な活動は？

東日本大震災で被害を受けた岩手県沿岸地域を中心として、沿岸地域などの課題解決のための活動や、ボランティア活動を行っています。今年度は、防災や震災の記憶の伝承、学習等に関する活動や、南青山復興公営住宅のコミュニティ形成支援活動などを実施する予定です。

※1 当委員会では、沿岸地域の課題解決的な活動やボランティア活動等の企画・実施を行う「委員」か、ボランティアやその他活動時に参加する登録制の「サポーター」に分かれて所属・登録し、活動することとなります。

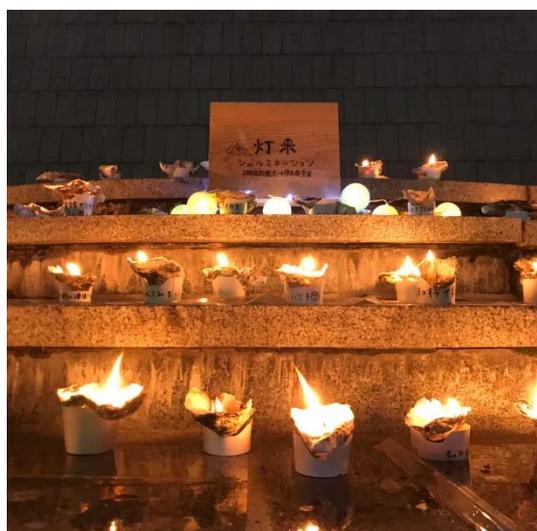
※2 本年5/9(木)より、団体名を「三陸委員会ここより」として活動します。
(旧名称：三陸復興サポート学生委員会)

◇団体の基礎データ（2021/5現在）

顧問：研究・地域連携部 早川浩之 部長

メンバー数：人社33名,教育8名,理工21名,農9名,院1名

団体メール：iwate.u.gakuvo@gmail.com



団体名：農革

◇団体の目的は？

IoTを用いて一次産業である農業をサービス産業にすること、農業とIoTの関連を広報すること。

◇主な活動は？

水耕栽培にIoTを搭載することで遠隔で管理できるようにする。また、センサーを付けた水耕栽培キットを作成し、通信技術を用いてスマートフォンアプリでデータを確認できるようにする。

◇団体の基礎データ（2021/5現在）

顧問：理工学部 萩原義裕 教授

メンバー数：理工3名,農2名,大学院1名

団体メール：noukaku.iwate@gmail.com



団体名：もちよこい久慈プロジェクト

◇団体の目的は？

「久慈のファンを増やす」を活動スローガンとし、岩手県久慈市の地域コミュニティ活性化や久慈市の魅力発信が主な活動とする。

久慈市内外の方々に魅力を発信し久慈のファンを増やすこと、そして久慈を楽しいところだと思える人を増やしていき、久慈市活性化に努めていく。

◇主な活動は？

久慈市のマップの作製、マップを活用したイベントの実施など。

◇団体の基礎データ（2021/5現在）

顧問：人文社会科学部 五味壮平 教授

メンバー数：人社3名,理工1名,農3名

団体メール：s0819067@iwate-u.ac.jp



団体名：岩手大学ビール部

◇団体の目的は？

クラフトビール産業を通じて、地域経済の向上を目指す。クラフトビールの認知と、ビール産業が抱えている諸問題（外国産材料など）の広報を行う。

◇主な活動は？

県内クラフトビールメーカー、ホップ農家への取材および広報 県産ビール麦の栽培 ビールの自作 製麦設備の開発 県内ホップ農家の栽培補助 醸造過程で廃棄されるビール麦を活用したぬか漬けキットなどの商品開発。

◇団体の基礎データ（2021/5現在）

顧問：人文社会科学部 杭田俊之 教授

メンバー数：人社3名,理工5名,農5名,他大学1名

団体メール：iwate.u.beer@gmail.com



団体名：民俗芸能サークルばっけ

◇団体の目的は？

岩手県内外の7つの民俗芸能の継承

◇主な活動は？

演目の練習、イベント等での披露

◇団体の基礎データ（2021/5現在）

顧問：人文社会科学部 樋口知志 教授

メンバー数：人社4名,理工6名,農8名

団体メール：bakke.iwateuni@gmail.com



団体名：MMM（エムキューブ）

◇団体の目的は？

地域課題解決のための3Dモデルを用いたデジタルコンテンツの提供などをもとに、地域との連携や社会貢献力を高める。

◇主な活動は？

昨年度に引き続き、花巻市博物館へのコンテンツ提供

1. さらに複雑な花巻人形をもとにしたレプリカの製作＋
3Dモデルの作成に必要なツール開発

2. 3Dプリンタによる花巻人形製作用の「型」の製作。
(4年生の研究の補助)

→子供による人形の手作り・持ち帰りを可能にする。

3. その他のコンテンツの企画・開発

◇団体の基礎データ（2021/5現在）

顧問：理工学部 今野晃市 教授

メンバー数：人社1名,大学院7名



団体名：まちづくりサークルNPCN

◇団体の目的は？

主に盛岡地域を対象にしており、活動を通して人と人の架け橋になったり、地域の魅力を発見・発信したりすることで、私たち自身はもちろん、その周りの人にも盛岡の魅力を知ってもらう。

◇主な活動は？

- ・ 店舗紹介や商品券発行など上田商店街の利用促進
- ・ さんさ出場者を紹介するさんさ男子やさんさ開催へのワクワクを高めるためのフォトギャラリー開催など、盛岡さんさに向けた企画

◇団体の基礎データ（2021/5現在）

顧問：人文社会科学部 五味壮平 教授

メンバー数：人社22名,教育6名,理工11名,農3名

団体メール：iu.npcn@gmail.com



団体名：岩手大学経済研究室

◇団体の目的は？

県内の地域での生業、コミュニティと連携した住みよい地域づくり。

◇主な活動は？

農林漁業、子ども事業、福祉事業、街の活性化など、実際に地域に赴き、その地域の人々と交流を深めながら、地域の持続可能性を探る。

◇団体の基礎データ（2021/5現在）

顧問：人文社会科学部 杭田俊之 教授

メンバー数：人社19名



団体名：同じ釜の旬を食う

◇団体の目的は？

漁協女性部の方々から教えていただいた地元食材の良さと調理法をレシピ集や動画を通してPRし、魚食文化の継承と発展及び釜石や沿岸地域の水産物のPRに貢献できる人材となることを目的としています。

◇主な活動は？

漁協女性部（浜のお母さん）に教わる魚のさばき方と郷土料理について理解し、市民の方々へ還元する。

◇団体の基礎データ（2021/5現在）

顧問：農学部 平井俊明 教授

メンバー数：農10名

団体メール：kamaishigyoshoku@gmail.com



団体名：法学研究サークルILC

◇団体の目的は？

裁判員裁判制度や法律への理解促進

◇主な活動は？

年に数回、岩手大学内外で模擬裁判を行っている他、法や裁判に関する勉強会、イベントの企画・実施をしています。その他、ILCではここ数年、地域貢献活動にも取り組んでいます。

昨年度は、地域の人向けに裁判員制度に関する語句や役職、適用される法律について解説を付けた模擬裁判を行い、模擬裁判への間口を広める活動を行いました。一昨年度は盛岡地方裁判所と協働し、小学生向けの裁判員裁判体験企画を企画し小さいうちから裁判や法、それに関する仕事に関心を持ってもらう活動を行いました。また、岩手県内の高校生や岩手大学の留学生と模擬裁判を行いました。

◇団体の基礎データ（2021/5現在）

顧問：人文社会科学部 藤本幸二 准教授

メンバー数：人社11名

団体メール：iwate.univ.ilc@gmail.com

